

令和3年度教育行政執行方針概要



教育長 吉田 憲 司

3月11日に開会された第1回議会定例会で、吉田教育長が令和3年度の教育行政執行方針について述べました。

今回の広報では、その主要な部分を掲載いたします。全文をご覧になりたい方は、役場総務財政課までお問い合わせください。

人口減少や少子高齢化が進み、地域産業を支える担い手の不足や、生産・消費の縮小、地域のコミュニティ機能の低下などにより、将来を支える人材の育成を担う教育の役割が一層重要となっており、更なる教育の質の向上に取り組むことが求められています。

また、ICTの進化は生活や企業活動を支える社会基盤となっており、子ども達はICTを使いこなす力

と正しい知識を身に付けることが必要であるとともに、変化する社会の中で主体的に生き抜くことができるよう、限らない可能性を伸ばす質の高い教育を提供し、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育み、地域社会に貢献する人材を育成する教育の充実を進めてまいります。

〇小中一貫校「沼田学園」

沼田学園は小中一貫型小学校・中学校の特性を活かして、9年間を見通した教育課程を整理し、教職員の小・中学校の指導内容の系統性についての理解を深め、授業実践と改善の継続を図ります。また、沼田認定こども園と沼田小学校との幼小連携が早期の学習支援につながることも期待できることから、継続して取り組みます。

さらに、専門性を生かした乗り入れ授業、小・中の円滑な接続のための小学6年生の中学校登校もその趣旨を生かし、内容の充実を図ります。

○学力向上対策の推進

近年の全国学力・学習状況調査やN・R・T標準学力検査などから沼田町の児童生徒の学力が向上しつつあることは明らかになっていますが、さらに課題を解決するために、沼田学園として連携し、学力向上への取り組みを一層推進していきます。

具体的には、授業改善のための授業スタイルとして主体的・対話的活動を促す「沼田スタイル」を沼田学園として組織的に継続して研究・実践を積み重ねていくとともに、学習規律、家庭学習等につきましても9年間のつながりを意識した学習習慣の確立を図っていきます。

一人1台配布されたタブレットパソコンなど充実したICT環境を活用し、教員の研修を進め、児童生徒の学力向上につなげるとともに、国が実施する「学びの保障・充実のための学習者用デジタル教科書実証事業」に小・中学校全年で参加し、ICTの活用をさらに進めてまいります。

○ふるさと教育やキャリア教育の充実

地域の自然や伝統・文化に親しみ、理解を深めるふるさと教育の充実、先人の生き方に触れることなどを通して、ふるさとへの愛着や誇りを育み、自尊感情の醸成に繋がるものと考えます。逞しく生き抜く子ども達を育成するため、沼田の地域素材を活用し、地域の方々に協力いただきながら、沼田町の良さや魅力を知り、子ども達が「沼田町で生まれてよかった、沼田町で育って良かった」と胸を張って言える教育を進めるとともに、「子ども議会」を開催することにより、地域社会の一員として議会や行政の意義やしくみへの理解を深める取り組みを実施してまいります。

子ども達は将来、社会の中で自分の役割を果たしながら、社会的・職業的に自立し、自分らしく生きていく力が求められています。児童・生徒が様々な職業や地元企業の職場を見学・体験することで、働くことの意義や職業観を学び、

意欲的に仕事に取り組む姿勢を身に付け、自分の進路を主体的に選択・決定できるよう、キャリア教育も引き続き取り組んでまいります。

○心身の健康づくり

学校生活における児童・生徒の意欲や満足感、学級集団の状態をアンケートによって調査する「hyper-QUテスト」を実施し、生活意欲や満足度を知ることによって不登校やいじめ防止、あたたかな人間関係づくり構築のため、小・中学校が共通の学習規律を持つて、落ち着いて授業を受けることができる環境づくりを進めてまいります。

また、健やかな身体の育成については、沼田学園の全学年が実施する「新体力テスト」の結果に基づき、児童・生徒の体力向上に向けた検討を行い、3年目となる小学校の体育専科教諭の配置やコーディネーショントレーニングの導入、休み時間・放課後などにおける体力づくり活動、少年団活動や部活動への参画奨励など、体力づ

くり繋がる様々な取り組みを検証しながら、身体の育成と体力の向上を図ってまいります。

○子ども達の健全育成

「子ども交流ひろば」は、子ども達が地域の大人と一緒に体験や伝承遊びをすることで、逞しさや社会性を育むばかりでなく、地域の教育力も高める場として重要であります。今後も町民の方々に「子ども応援団」への登録を呼び掛けつつ、多様な活動を展開しながら、子ども達のより良い成長を促してまいります。

また、自然の中での共同生活の機会を与え、基本的な生活習慣を身につけ、普段体験することができない野外活動の体験を異学年との交流を深めながら心身の健全な育成を促す事を目的とした「自然体験キャンプ」は、宿泊キャンプ・デイキャンプを中学生リーダーや高校生ボランティアの協力を頂き取り組んでまいります。